



環境に配慮した建築物

日本貿易振興会 アジア経済研究所

建築主：日本貿易振興会アジア経済研究所
設計：株式会社 日建設計
施工：(株)熊谷組・大成建設(株)
(株)竹中工務店 [共同企業体]

所在地：千葉市美浜区若葉3丁目2-2



正面入口から（本館・研究棟・図書館）（撮影：篠澤建築写真事務所）

7

我が国の国際社会への拘わりは、経済支援活動が目につき易い。経済大国ニッポンとある種の揶揄を込めて言われるのはその為であるが、人知を結集した活動も実は多いのである。こうした地に足をつけた活動の一環に日本貿易振興会（ジェトロ）がある。その附置研究機関であるアジア経済研究所が幕張新都心に活動の拠点を移した。

アジアに限らず全世界の開発途上地域を対象とし、情報の収集・研究と社会的事業活動の二大テーマを掲げた施設である。

正方形の敷地というものには概して配置上扱い難いものだが、池を配した中庭を軸として、三方向に管理部門・図書館・研究部門を巧みに分棟配置している。第一種高度地区という都市計画上の意図を反映して高さを押さえ、かつ敷地に広がりを持たせることに成功した。

施設の目的である研究エネルギーの燃焼を計るべく、敷地の外に向かっては敢えて閉鎖的に、中庭を中心とした内に向かっては一変して透明性の高い開放的な顔を持つ。各ブロックに大きな吹抜けを構え、ドラマチックに質の変容を見せている。

景観としても優れた作品であるが、ここでのテーマは環境への配慮に力点を置いている。自然採光・自然換気・太陽熱利用・雨水の積極的活用など、国際的研究機関として地球にやさしい思いを存分に網羅した。



図書館吹抜

力技を感じさせない、さりげなさの中に関係者の思いを込めた秀作である。

（田中修一）